

平成 21 年 5 月 31 日現在

研究種目：基盤研究 C

研究期間：2006 ～ 2008

課題番号：18520493

研究課題名（和文） 『赤蝦夷風説考』の研究

研究課題名（英文） Concerning on “Aka-ezo Fusetsu-ko” written by Heisuke kudo

研究代表者

岩崎奈緒子（IWASAKI NAOKO）

京都大学・総合博物館・准教授

研究者番号：80303759

研究成果の概要：『赤蝦夷風説考』成立時に挿入されていた地図2枚を発見し、その歴史的意義を明らかにするとともに、『赤蝦夷風説考』が誤称であり、真の名称が『加模西葛杜加国風説考』であったことを確定した。また、本書で展開された蝦夷地開発論の特質を、それ以前の3つの著述と比較検討した。

交付額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
18年度	600,000	0	600,000
19年度	500,000	150,000	650,000
20年度	300,000	90,000	390,000
年度			
年度			
総計	1,400,000	240,000	1,640,000

研究分野：日本近世史

科研費の分科・細目：史学・日本史

キーワード：近世・日本・蝦夷地開発論・ロシア・世界認識

1. 研究開始当初の背景

科学研究費の交付を受ける以前の2005年天理大学天理図書館の所蔵する「加模西葛杜加国風説考」（外題は「加模西葛杜加記」）を調査し、本写本に挿入された二枚の地図を発見した。そこで、本書の内容を地図二枚を参照しながら再検討したところ、本来の名称が「赤蝦夷風説考」ではなく「加模西葛杜加国風説考」であり、蝦夷地からカムチャツカ半島までの地域の概況と地理とを歴史的に把握するところに目的があったとの見通しを得るにいたった。

ロシアの進出を警告する書として評価されてきた本書は、なぜいわゆる地誌として成

立したのか。新たな知見をもとに、本書が成立した契機を当時の地理認識に即して検討するとともに、ロシア対策として本書が示した蝦夷地開発論についても、新たな文脈においてその歴史的意義を再検討する必要があると判断し、研究に着手したものである。

2. 研究の目的

本研究は、「赤蝦夷風説考」という名称で広く知られた工藤平助の著作の歴史的意義を、第一に、新発見の二枚の絵地図の存在を前に世界認識の観点から、第二に、蝦夷地開発論の系譜から、再検討することを目的にしたものである。

3. 研究の方法

- ①本書の本文内容と地図情報の比較検討
- ②近世に制作された世界地図の博搜と、本書挿入の世界地図の比較検討
- ③各地に散在する蝦夷地開発論の写本の収集と分析

4. 研究成果

成果の概要は、上記「研究成果の概要」に触れたところであるが、研究の成果として特筆すべきは、本書に対して江戸時代以来通用してきた誤称を質したこと、そして、本書に挿入された世界地図が筆者工藤平助の作であり、本書成立当初には挿入されていたことを確定したこと、また、その地図がロシアの存在を初めて日本で描いたことを証明した点にある。

中国を凌駕する巨大国家ロシアの突然の出現は、時の為政者に多大な衝撃を与え、19世紀前半の各種の政策を生んだ。すなわち、ロシアの南下とそれへの対策は、従来単に隣国の拡大・進出という文脈で語られてきたが、それは当時の状況を正確にとらえたものではなく、近世初頭以来の世界観の転換というダイナミズムにおいてとらえるべきことが、日本史研究上、初めて提起されたのであり、その意義はきわめて大きかったと評価できる。

また、この世界観の転換の下で本書の蝦夷地開発論を考えると、それ以前とは時代を画する、植民地主義的な性格を帯びた議論であることが明らかとなった。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計3件)

岩崎奈緒子「(史料紹介)加模西葛杜加国風説考」『北海道・東北史研究』3(サッポロ堂)2006年

岩崎奈緒子「『赤蝦夷風説考』再考」『北海道・東北史研究』3(サッポロ堂)2006年

岩崎奈緒子「(史料紹介)「關疆録」」『北海道・東北史研究』5(北海道・東北史研究会)2008年

〔学会発表〕(計2件)

岩崎奈緒子「『加模西葛杜加国風説考』の歴史的意義」(読史会)2006年11月

岩崎奈緒子「並河天民『關疆録』について」(北海道東北史研究会)2008年5月

〔図書〕(計2件)但し、論文。

岩崎奈緒子「十八世紀後期における北辺認識の展開」『大地の肖像』(京都大学出版会)2007年

岩崎奈緒子「『加模西葛杜加国風説考』の歴史的意義」『境界からみた内と外』(岩田書院)2007年

6. 研究組織

(1) 研究代表者

岩崎奈緒子 (IWASAKI NAOKO)

京都大学・総合博物館・准教授

研究者番号：80303759